

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査日

令和7年4月17日（木）

3 調査実施校・学年及び人数

小学校	192校（特別支援学校1校含む）	8,584人
中学校	86校（特別支援学校3校含む）	8,140人

4 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・小学校第6学年 国語・算数・理科
- ・中学校第3学年 国語・数学・理科

(2) 質問調査

- ・児童生徒 生活習慣や学習環境等
- ・学 校 指導法や教育条件の整備等

※ は、1人1台端末等によるオンライン方式で学校ごとに分散して実施

5 国による結果の公表

令和7年度より、3回に分けて公表。

- ・7/14(月) 結果公表①(正答数や正答率の全国平均など)
- ・7/31(木) 結果公表②(全国データに基づく分析結果)
- ・9/30(火) 結果公表③(都道府県別データに基づく分析結果)

II 調査の結果

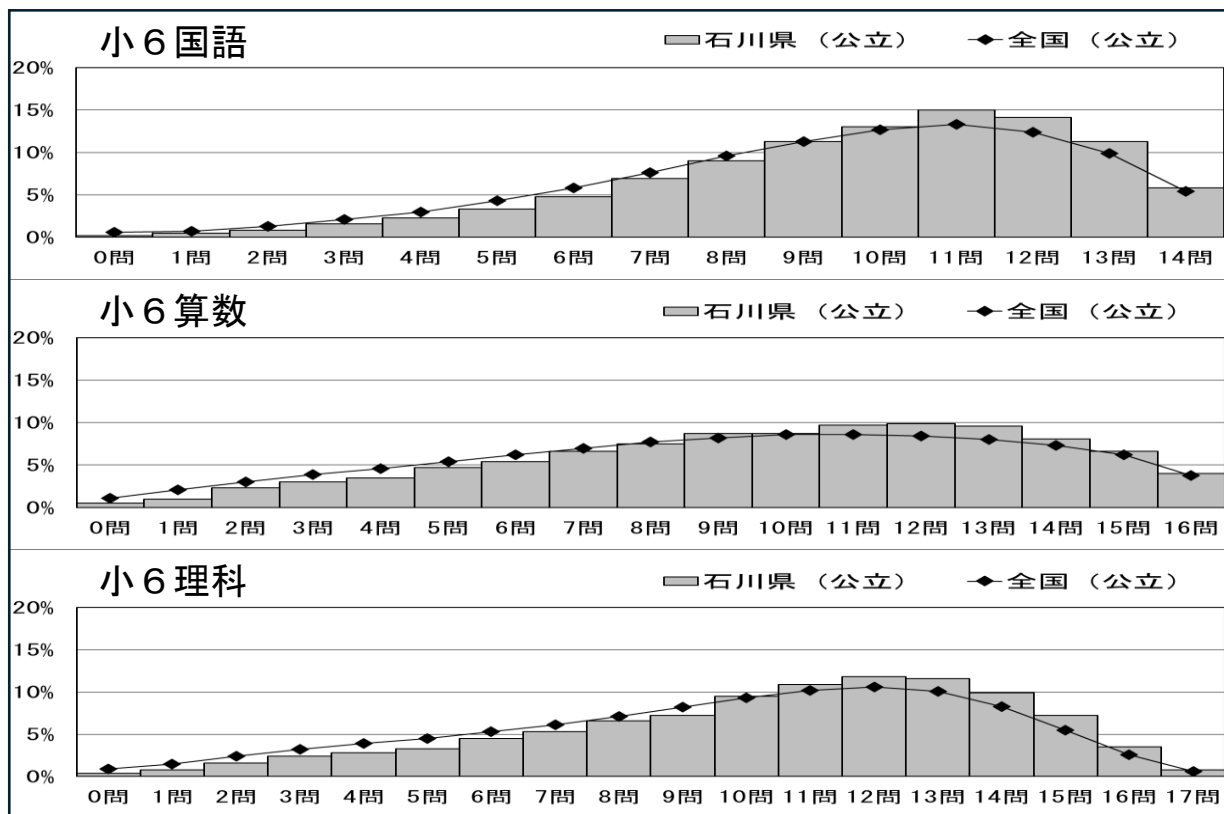
1 教科に関する調査の結果

学年	項目	国語	算数・数学	理科	
小学校 第6学年	問題数	14	16	17	
	平均 正答率 (%)	本県	70	62	61
		全国 (公立)	66.8	58.0	57.1
中学校 第3学年	問題数	14	15	(※1)	
	平均 正答率 (%)	本県	57	54	530(※2)
		平均 IRT スコア	54.3	48.3	503(※2)

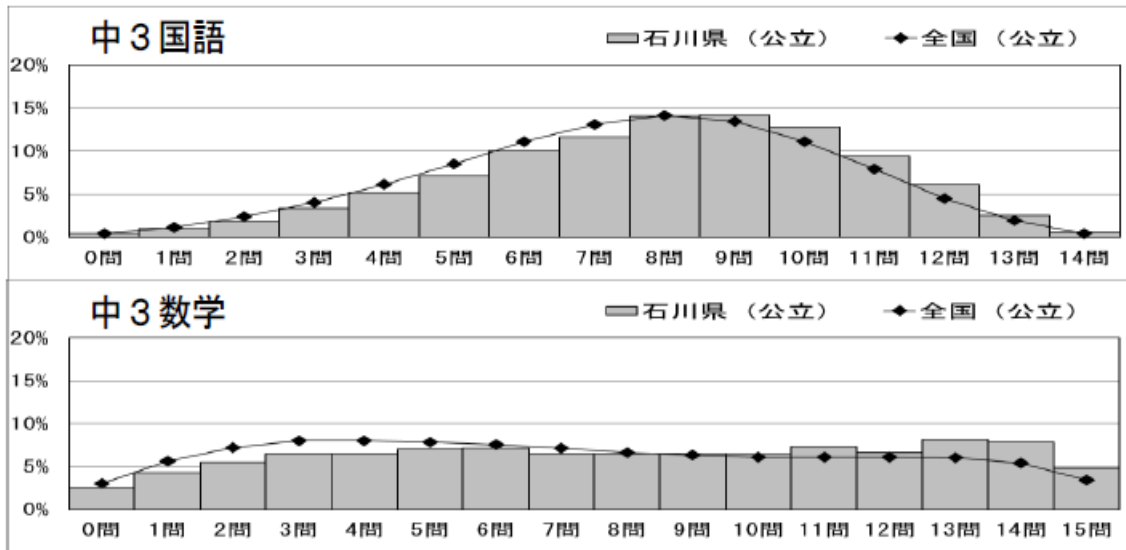
※中学校理科について

- 1 問題は、公開問題10問と、非公開問題16問（生徒ごとに異なる問題）の計26問で構成。
- 2 結果は、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアで表記。
IRT (Item Response Theory: 項目反応理論)
…異なる問題から構成される試験・調査の結果を同じものさし(尺度)で比較できる理論。

<正答数分布> 小学校第6学年



＜正答数分布＞ 中学校第3学年



2 質問調査の結果《抜粋》

(1) 児童生徒への質問

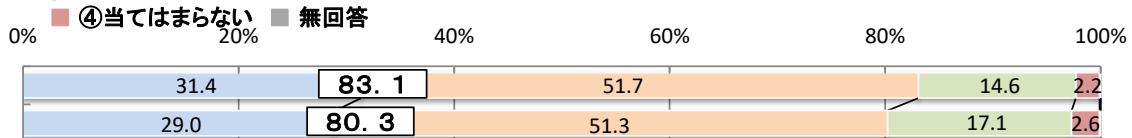
※ □内の数値は、肯定的な回答の割合

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

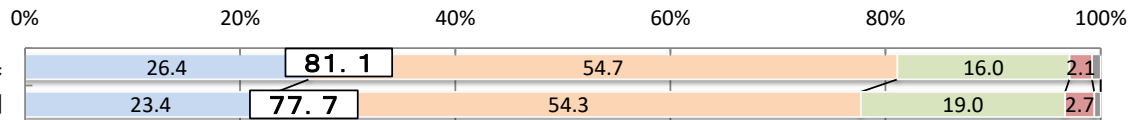
ア 前年度までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は83.1%、中3は81.1%で、ともに全国よりやや高い。

【小6】 ①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

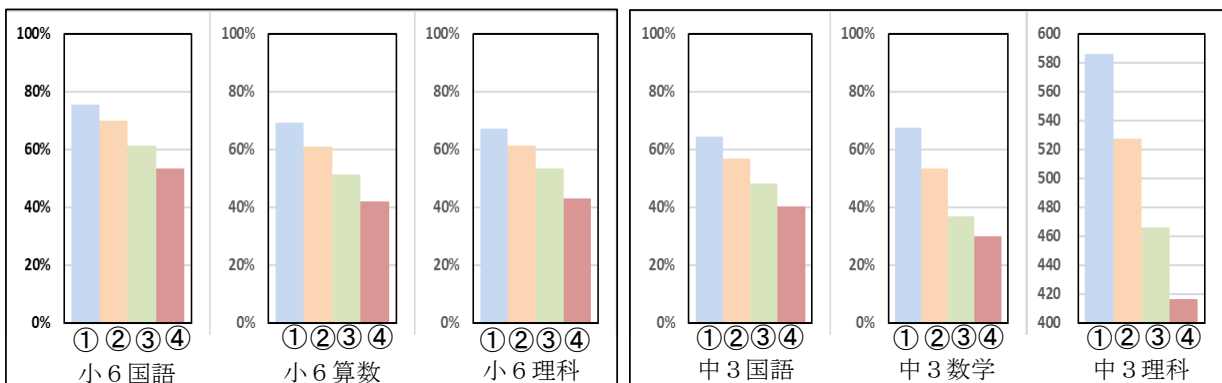


【中3】



【回答別教科正答率】

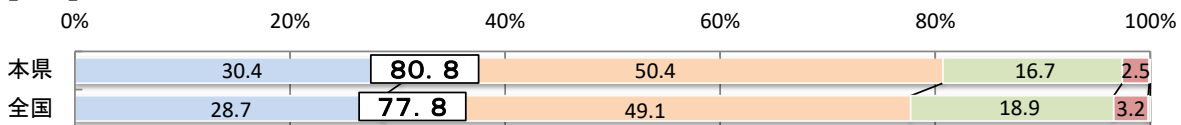
①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない



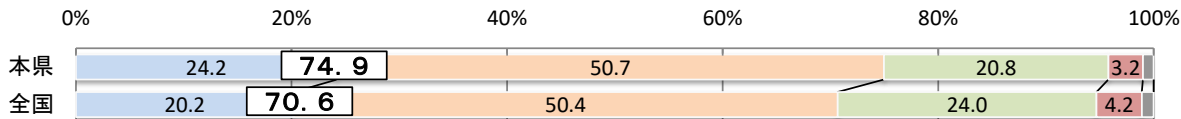
イ 前年度までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は80.8%、中3は74.9%で、ともに全国よりやや高い。

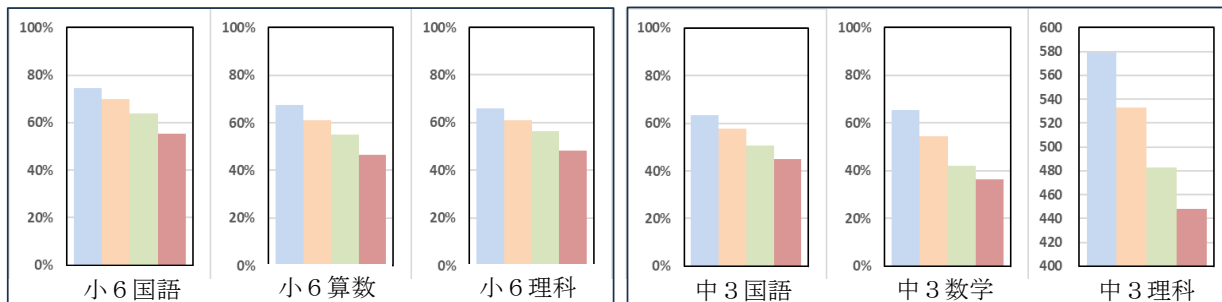
【小6】 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



【中3】



【回答別教科正答率】

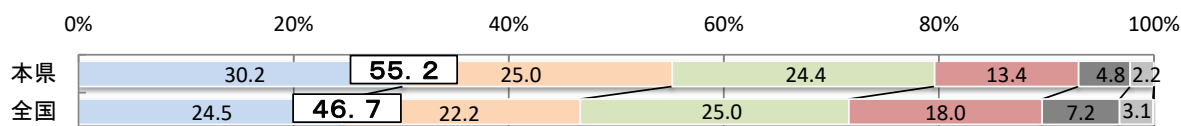


【ICTを活用した学習状況】

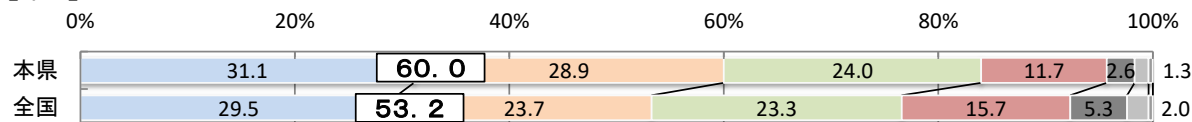
ウ 前年度までに受けた授業では、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

ほぼ毎日使用したと回答をした児童生徒の割合は、小6は55.2%、中3は60.0%で、ともに全国より高い。

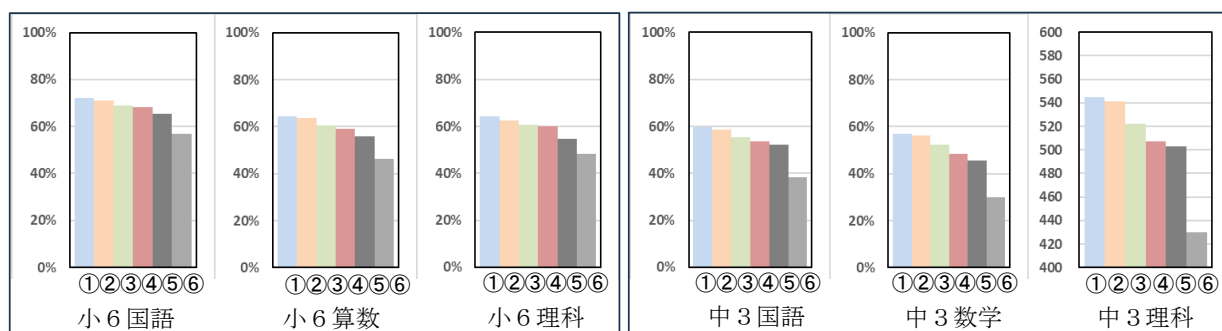
【小6】 ■ ①ほぼ毎日(1日に複数回) ■ ②ほぼ毎日(1日に1回) ■ ③週3回以上 ■ ④週1回以上 ■ ⑤月1回以上 ■ ⑥月1回未満



【中3】

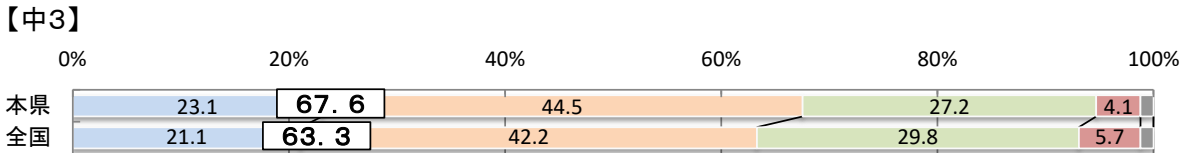
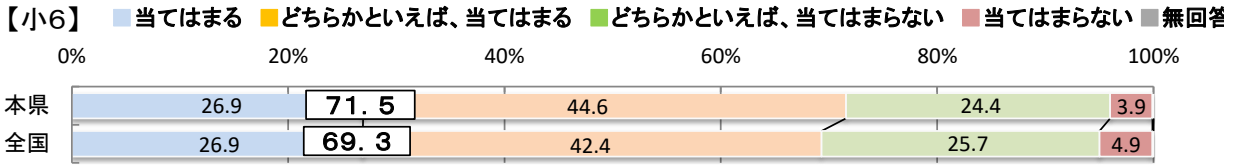


【回答別教科正答率】 ■ ①ほぼ毎日(1日に複数回) ■ ②ほぼ毎日(1日に1回) ■ ③週3回以上 ■ ④週1回以上 ■ ⑤月1回以上 ■ ⑥月1回未満

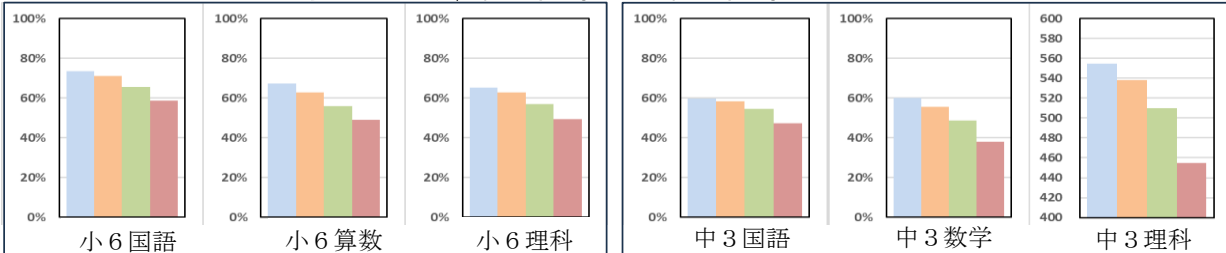


エ PC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は71.5%、中3は67.6%で、ともに全国よりやや高い。



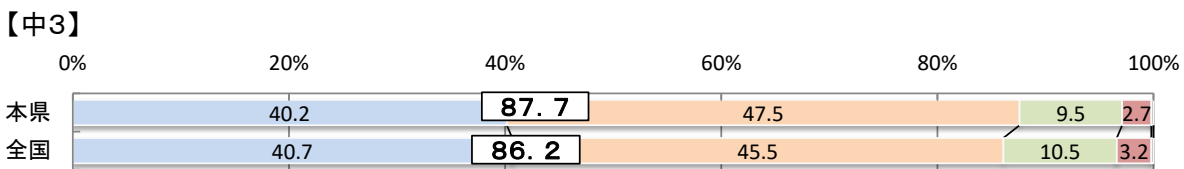
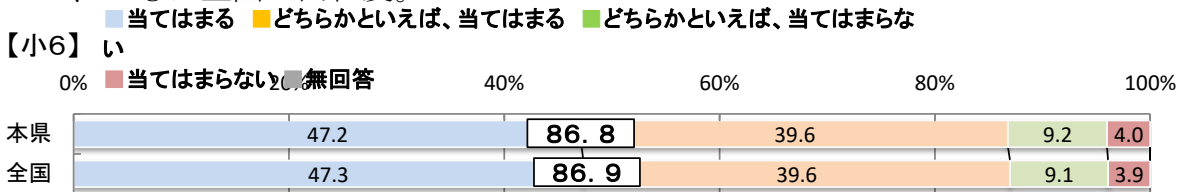
【回答別教科正答率】



【自己有用感等】

オ 自分には、よいところがあると思いますか

肯定的な回答をした児童生徒の割合は、小6は86.8%、中3は87.7%で、ともに全国と同程度。



(2) 学校への質問
【調査結果の活用】

カ 令和6年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

肯定的な回答をした学校の割合は、小学校は100%、中学校は98.9%で、ともに全国よりやや高い。

